



二松學舎大学  
父母会報

平成5年5月10日創刊  
平成29年3月31日発行  
(第96号)

二松學舎大学父母会  
(本部・事務局)  
東京都千代田区三番町6番地16  
二松學舎大学学生支援課

題字は  
故 観山貞広堂吉先生書



## 卒業を祝す

父母会会長 渡邊 勝文



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、ご子弟のご

卒業を心よりお喜び申し上げます。

三月十六日には、中野サンプラザにて学位記授与式(卒業式)が挙行されました。

ご卒業にあたり、これから社会人として巣立っていく卒業生の皆さんは、このような社会人になって頂きたいと思えます。

一つは、「感謝」する事です。卒業生の皆さんの四年間の成長は素晴らしいものです。これを支えてくださったのは、大学の教職員の皆さんです。そして、学生の支えとなったのは保護者の皆様方です。また、さらにこれから社会人となる学生にとっては、職場の先輩等に感謝をして

いかなくはなりません。

二つめは、「縦横」の関係です。父母会として、学生にとっての大学時代をどの様にしたらよりよい生活を送ることができるかを役員一体となつて論議し、学生の皆さんにいろいろ提案をしたり援助もしてきました。一つの例は、一〇〇円朝食の全日(土・日曜日は除く)の試行です。さらに、今年度から「卒業パーティー」をホテルグランドパレスの「ダイヤモンドルーム」に変更したことです。この「ダイヤモンドルーム」はかつてのドラフト会議が開催された部屋です。そして、この二松學舎大学には、卒業すると「松茶会」という組織があります。これからは、卒業させて頂いたこの「二松學舎大学」をいかに一流大学としてアピールするかが卒業された皆さんがこの大学への恩返しです。そのためにも、大学の先輩・同期同僚・後輩の縦横の関係を築かなければなりません。

最後になりましたが、学生の皆さんにとって「最後の学校」の二松學舎大学を誇りに思つて邁進して下さい。父母会も、今年度、いろいろな事業に取り組んできました。これらを実行できた事は、父母の皆様方のご理解・ご協力の賜物であり深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

# CHAOSの社会でアイデンティティの確立と復元力を

理事長 水戸英則



皆さんご卒業おめでとうございます。

これからの、いよいよ実社会の生活

が始まります。その社会、グローバルゼーション、デジタルゼーションが進展し、変化のスピードの速い世界です。また近年グローバルゼーションの進展の結果、各国で所得、雇

用、教育、福祉・医療等の面で格差が拡大し、これへの反省として、経済・政治・社会面で自由主義から保護主義への流れが加速するなど、世界において大きな潮流の変化が見られております。この流れは、例えば「BREXIT」、英国のEU離脱や米国のトランプ大統領の出現、難民排斥等を標榜する欧州諸国における右派政党の台頭などに象徴されております。このように時代は不透明で混沌とした社会「CHAOS」の時代に突

入しつつあります。

このような社会に、皆さんが船出して行く上で、参考になることを、二点申し上げます。一点目は、その前提として、皆さんが二松學舎大学の四年間でどのような力が付いたかを整理しておきましょう。皆さんは様々な基礎・専門知識を身に就け、コミュニケーション能力、語学力、分析力、論理的思考力等スキルを身につけ、これら知識とスキルを兼ね備え、主体的に行動できる力が備わったと思います。従って、実社会では、様々な変化に惑わされることなく、皆さん自身のアイデンティティをしっかりと保ち、自らの役割を自覚し、多様な価値観を受け入れな

がら、公正な判断を行い、自ら行く道を造りだしていくことが肝要です。二点目は「復元力」が大事です。不意に訪れる逆境に対して、これを乗り越える心、めげない心、強靱な心で乗り越えて行く必要があります。是非、精神をポジティブに持つ訓練を日頃からして、日々の生活を送って頂きたいと思えます。

「アイデンティティの確立と復元力」、以上二点を念頭に、仕事をし、人に頼らず、収入を得て、自立した家計を営み、その上で、そうした社会的な活動の中で、日本や世界を、よりよい社会へと導いていく人材として活躍することを念願しております。

# 自らの力で人生を切り拓いて

学長 菅原淳子



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在中の数々の思い出を胸

に、新たな人生の扉を開こうとされている皆さん。未来に続く道に案内図はありません。自らの人生を自身

で。大学を卒業することは大学での学業の終了を意味しますが、決して学びの終了ではありません。むしろこれからが始まりであって、これまで学んだことを基礎に自らが選んだ人生をスタートさせることになりま

す。皆さんは社会に出て十年、二十年、三十年と仕事をしていくために、自分にとって何が必要かということを考えているでしょう。時代の変化が早い今日、これからの長い人生において、皆さんは絶え間なく新しい知識をインプットする、学んでいくことが求められています。日本では人生一〇〇年時代に入ったと言われています。皆さんは人生の様々なステージで学び直し、働き方を変えていくことになるかと思えます。そして仕事を離れても知的好奇心を常に持ち続け、生涯を通じて学んで頂きたいと思えます。

皆さんは、これからの人生の中でさまざまな問題に直面するでしょう。そこでは自らの力で解決方法を見出すことが求められるでしょう。そこで問われてくるのは、「主体的に取り組む力」、「自ら考える力」そして「やり抜く力」だと思います。皆さんがこうした力を、大学での四年間で身に付けて下さったと私は確信しています。皆さんが社会人としての自覚と責任を持って、社会に貢献していかれることを期待致します。そして社会人として成長され、豊かな人生を送ってくださることを願っています。どうぞ自信を持って新たな一歩を踏み出して下さい。さまざまな可能性を持つていらっしやる皆さんの前途が、希望に溢れていることを祈念して、贈る言葉と致します。

# 卒業する君たちへの期待

文学部長 江藤 茂博



学年と共に進級してきたリニアな時代は終わります。用意された進級プログラムは無くなりました。これからは、一年いちねんを、自分ではつきりと「意味」づけ、そして自分の人生のなかに「位置」づけなければ

ば、一年も十年も単なる変化だけが目の前を通り過ぎることになります。もちろん、選んだ「意味」づけや「位置」づけを手にしても、たぶん「正解」などはありません。正しい道だと君たちが信じて、相当な苦労をして歩んでみても、最初からやり直さなければならぬこともあります。学校と別れるということとは、「正解」によって前に進める時代が終わったということなのです。で

も、文学部の学問は、もともと「正解」を求めはするけど、結局は「正解」が無い学問です。ただ正しい読みを夢想しながら書物を読む。その読むということに関する知の蓄積があるだけです。長い年月をかけて書物が読み継がれ、読み替えられていく。こうした「正解」を求め続ける学問が、文学部での学びの基本となっていた筈です。最近では、安易な「正解」が大学教育の世界にも求められ、教育の技術や効果だとかが話題となっています。でも、わかりやすい授業なんて噴飯ものです。たとえ大学が大衆化したからと言われても、学問の内容は大衆化できません

ん。書物の難解さから何を読み取ることができるのか、そんな自分自身への問い(あるいは自らの凡庸さの発見)に向かう文学部の学問の姿に触れた君たちは、「正解」を求め続け、一步の意味を確認し、そして自身の位置づけを絶えず試みながら、さらにいつでも一からやり直せる勇気を持って、この門から踏み出してもらえるでしょう。人生に「正解」などありません。しかし、それを求め続けてください。

# 卒業生に贈る

国際政治経済学部長 中山 政義



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。学業を終えて社会人となる皆さんに、一言お祝いの言葉を述べさせていただきます。

義の波は、イギリスで行われたEU離脱の是非を問う国民投票のみこみ、アメリカでは極端な政策を掲げるトランプ政権を誕生させました。このような国際社会の動向は、いやおうなしに日本の社会に影響を与えることとなります。日本の国内では、緊急に対応しなくてはならない政治的・経済的な問題が山積しております。

これから社会に向けてそれぞれに

巣立つて行く皆さんは、新たな社会人としての活動の中で、この社会の急な変化に戸惑い不安になることもあるでしょう。そのような時こそ、二松學舎大学での学びを思い出し、自信を持って行動してほしいと思います。大学で身につけた学問は、すぐに役立つとは思えないかもしれませんが、社会の中の政治や経済の動きを見抜く根本的な力や、客観的に物事を判断することができる力を四年間の学びの中で会得しているのです。皆さんが社会人として仕事に就き、どのような環境下で活動することになるうとも、大学の講義で蓄積された様々な知識を活かし、ゼミナールで鍛え上げられた論理的な思考力と発言力を発揮し、さらに二松學舎大学ならではの文章力を駆使することで、困難を乗り越えることができます。

自由ののびのびと過ごしてきた学生時代とは異なり、社会人として求められる責任の重圧や周囲の期待の中で、生きることが厳しく困難に感じる時期もあるかもしれません。そんな時こそ、自分の力を信じて謙虚に努力を続けていけば、きっと明るい未来が待っているはずですよ。心よりご活躍をお祈りいたします。

# 文学部

国文学科・中国文学科の  
先生方から  
餞の言葉を頂きました。

Way to go!  
白井雅彦

ぼくらはただほかの人々とともに生起させる  
世界だけをもつのであり、それを生起させることを  
助けてくれるのは愛だけだ。  
(ウンバット・マトラーナ/フランスコ・ヴァレラ) 清龍田浩

青春は聖大だし

悲しい時 苦しい時にも  
身体を整えて臨んで  
行きましよう。  
中所宜夫

渡邊了好

たまには近況報告でも  
送って下さい。僕も必ず  
返事を書きます。五月信

二日でも三日でもいいから  
日本を出てみよう。

稲田篤信

どうぞお元気づ。  
たまには、顔を見せに来て下さい。

改田明子

パスが来る前に

周りをよく見ておこう

本林野 崇

明るく

楽しく

元気よく!!

増田 裕美子

あなたを信頼していきま

塩田今日子

思い出を大切に!

谷口 正貞

御多幸をお祈り申し上げます。

多田一臣

「歳寒くして、然る後に松樹の  
周むに後るるを知る」(論語)  
寒さの到来により常緑樹の葉が枯れ  
しほむことがない。と、わかるように、  
苦しい時こそ人の真価が表れて来ます。  
頑張ってください。 五月文肇 志心

「もはやそれは新しい物語り、  
別の長い物語りでなければならぬ。」  
(大西巨人 日神聖喜劇)

山口直孝

永寿禍福

原由来恵

明日ありと思つ心の仇粉

夜半に出風の吹かぬものは

(可親録馬聖人絵詞伝より)

小山 聡子

笑門来福

中川 桂

今年め小さな世界をお出します  
ホームカミングデーに吾の会に  
会いますように

山崎正伸

# 文学部

国文学科・中国文学科の  
先生方から  
餞の言葉を頂きました。

## 大業 高澤浩一

吃得苦中苦、方為人上人

永井鉄郎

文章は經國の大業

不朽の成吉思汗

牧南悦子

徳は 弘く

飛躍と 祈ります

寺内道

日暮れ

道尚遠し

高山 郎也

「友朋自遠方來、不亦樂乎」  
たまには近況を知らせて下さい。

戸内俊介

君子は天職を奉ずる者なり

諸君の天職を見出し、生涯をかけて  
よい人生を歩んで下さい。

町泉寿郎

鵬程万里

張佩茹

小方伴子

學びて思はざれば則ち罔し。  
思ひて學ばざれば則ち殆し。(司論語為政)

伊藤晋太郎

白圭之玷尚可磨也

斯言之玷不可為也

野間文史

選べない「こが生」で無理ゲーを  
当事者として生き抜くのがじゃよ

島田泰子

何も無いところに光を見出す力の源は  
たまたまとっしかない。

(齋藤陽道「宝箱より」)

荒井裕樹

心に太陽を  
唇にうたを。

文学と音楽を忘れずに

嵯 水絵

自分の人生を自分でデザインできる  
人生を送って下さい。

松本健太郎

「百聞は一見に如かず」  
「百聞不如一見」こんな世の中だから  
ぜひ異文化体験を！

木浦史子

又喜がびに  
大藏吉次郎

又喜がびに  
大藏吉次郎

# 国際政治経済学部

国際政治経済学科の  
先生方から  
餞の言葉を頂きました。

ご卒業おめでとうございませう。  
夢中に在るものを見つけ、  
人生を楽しんで下さい。

手紙 裕輔

御卒業おめでとうございませう。  
一度しかない人生、十分に味わって  
ください。御活躍をお祈り致し  
ます。

千鳥 茂樹

ご卒業おめでとうございませう。  
ご活躍をお祈りいたします。  
将来皆さんと名利交換など  
できる日を楽しみにしています。

咲川 可矢子

失敗は

田端 克至

成功の

はじまり

ご卒業おめでとうございませう。  
ご活躍を心からお祈り致します

西川 ウォンキーステル 雅子

夏のバンガロー(清里)楽しかった  
ですわ。

岩崎

卒業

おめでとう

ございませう。

*Many congratulations upon your  
graduation. I wish you see the best.*

*Mutsuko Nishikawa - New East*

御卒業

おめでとうございませう

石田 幸詞

言ゆぬがはなの。 暑ましも

ご卒業おめでとうございませう

六分の快気四分の熱

高野 和基

社会ありところに法あり

土屋 茂

常に「好奇心とユモア」を忘れないで

押野 洋

御卒業おめでとうございませう

お幸せに 本多峰子

卒業しても何かあればキャリアセン  
ターに相談に来てください。

佐藤 晋

しなやかなにしたたかに  
一歩一歩前にすすんで  
ほしいな

初丸 貞徹

ご卒業おめでとうございませう。  
夢に向かって飛び立ってください。

高岸 道樹

自信をもって進んで下さい

中山 政義

河原 田

ご卒業おめでとうございませう。  
みなさまのヤングなるご活躍を  
期待しております。

飯田 幸裕



# 平成28年度 卒業式

平成二十九年三月十六日(木)、中野サンプラザホールにおいて、平成二十八年  
度二松學舎大学学位記授与式(卒業式)  
が挙行されました。着飾った卒業生たち  
が会場前に集合し、友達同士や親子で写  
真を撮る風景があちらこちらで見られま  
した。

午前十時、開式宣言に始まり、国歌斉唱、  
学務局長による学事報告に続いて、文学  
部卒業生に学士(文学)、国際政治経済学  
部卒業生に学士(国際政治経済)の学位記・  
卒業証書が授与されました。

国文学科・中国文学科・国際政治経済  
学科それぞれの成績優秀者には、中洲賞  
として賞状と賞品が授与され、その後、  
教育職員免許状が伝達されました。

続いて菅原淳子学長の告示、水戸英則  
理事長・廣田克己松苓会長の祝辞、祝電  
披露、送辞、卒業生代表の答辞、国歌斉  
唱と進行し、厳粛のうちに卒業式は終了  
しました。

卒業生の皆さん、ぜひ自分の夢を大切  
にして粘り強く仕事に取り組み、社会人  
として活躍されることを願っております。



# 業

平成28年度  
卒業パーティー  
in  
ホテルグランドパレス  
ダイヤモンドルーム

平成29年3月16日(木)、午後3時より  
ホテルグランドパレス  
「ダイヤモンドルーム」において、  
平成28年度卒業パーティーが開催されました。  
パーティー会場では  
ゼミの先生を囲んでの写真撮影や  
友との語らいの楽しい時間が瞬く間に過ぎ、  
終了後は立ち去りがたく  
別れを惜んでいる姿が見られました。







卒業にあたり、新しい人生への、希望に満ちた門出に胸膨らませている学生三名に、四年間学んだ学生生活を振り返り、現在の心境及び感想等を語っていただきました。

## 『教師を目指した四年間』



文学部国文科

浅利 龍一

四年間の学生生活を振り返ってみると、苦労は多かったものの非常に内容の濃い充実した日々を過ごすことができたように感じます。教員になるということが入学当初からの目標でしたが、国語科という大きな分野の中で幅広い知識を深く学ぶことができました。

大学で学ぶ前の私は、国語の授業といっても教科書の文章を指導したり、漢字や文法を指導したりするといった漠然とした印象しか持っていませんでした。しかし、日本語学や文化史等の様々な講義を通して、何よりも大切な国語の面白さと、それを授業で伝えていく教職の魅力を再

発見できました。

卒業論文では、平安時代中後期の疫神の調伏について研究しました。病をもたらす疫神がどのような存在で、禁忌とされていた疫神の調伏がなぜ行われていたのかを明らかにするために調査を進めました。手掛かりとなる平安時代の古記録は殆どが漢文で記されています。日本の思想に影響を与えていた中国の文献も読む必要があり、大変苦労しました。また、研究内容の性質上医学に関する知識も必要で、専門分野以外の知識が要求される場面が非常に多かったです。しかし、研究の中で分野の全く異なる内容から関連性が見出せ

たときは、とても感動しました。

近年の教育課題として、子どもの学習意欲の低下が挙げられています。私自身も塾のアルバイトで、勉強しても役に立たない、やってもつまらない、と声を上げる生徒を多く見きました。確かに全ての内容を好きになることは難しいかもしれませんが、しかし、何が必要な知識になるかはその時になってからでないに分かりません。大学での生活と研究を通して発見した学ぶことの面白さや喜び。教員として働く四月からは、これらを生かして生徒が自ら関心を持って学べるように教育活動を展開していきたいと思えます。

勉強以外の生活面でも、初めて経験することや、学べることはたくさんありました。大学進学率の上昇が続いている現代では、大学へ通うということがそれほど珍しいことではありません。けれども、私にとって大学へ進むということは大変な苦労を伴うことでした。学生として勉強には全力で挑みつつも、学費を捻出するために塾の講師として働き、生活をするための家事もこなしていました。一限に授業のある日は朝五時に起床して、授業後は夜遅くまで働く生活です。週に一日有るか無いかの休日も家の清掃や講義の課題で終わる状況が数か月続いたこともあり

ます。学費納入の際に、今まで懸命に貯金したお金が口座から一気に無くなつたときの衝撃は今でも忘れられません。このような状況下でも、諦めずにやるべきことを継続していく忍耐力を学生生活では養うことができました。自分の置かれた環境の中で努力をし続けること、目的のために計画的かつ工夫して物事を進めていく能力こそが、四年間で見出した私なりの「生きる力」です。変化の激しい社会の中で、私以上に困難な状況に立ち向かわなければならぬ子どもは大勢いると思います。そうした子どもたちが幸せな社会生活を営めるよう、学生生活の経験を生かして指導していきたいです。



## 『四年間を振り返って』



文学部中国文学科

長居 春佳

\*\*\*\*\*

高校一年生の時にテレビから聞かえてきた韓国語の響きに惹かれて韓国語の勉強を始めました。その頃は独学でしたが、勉強を続けるうちに自分が思っていることを韓国語で伝えられるようになりたいという気持ちが大きくなり、大学で韓国語を専攻することを決めました。志望校を決めるにあたり、私が幼いころから趣味として韓国語を勉強していた父が、ラジオのハンゲル講座を担当していた塩田今日子先生がいる二松學舎大学はどうかと、提案したのをきっかけに入学を決めました。

大学に入学してからは、履修できる韓国語の授業はすべて履修し、毎日のように韓国語に触れました。授業の形式は先生によって全く異なり、教科書を用いて学習するだけではなく、韓国のニュースやドラマ、文学作品などを用いて今までに習っ

語学学校の授業は全て韓国語で行われると知った時にはとても驚くと同時に、単語や文法の意味、使い方を理解することができるとかという不安も感じました。語学学校の先生は、私たちが普段の生活の中で経験するような身近な場面を例として挙げながら文法事項を説明してくれたので、楽しみながら韓国語を学ぶことができました。

三年生の時には「韓国語学概論」や「日韓対照言語学」などの授業で韓国語の歴史や形態など、言語学的な観点から韓国語について学びました。言語学という新たな観点から韓国語について学ぶにあたり、専門用語には難しさを感じましたが、体系的に整理された韓国語に触れることに面白さを感じました。

三年生から始まったゼミナールでは、ドラマの台詞を聞きとり日本語に訳したり、韓国語の文学作品を日本語に訳したりしました。韓国語と日本語は構造が似ているので、直訳をしても意味が伝わる場合が多いとは思いますが、直訳では意味が分からないものや日本語の文法としては正しくない場合もあります。どんな表現を用いると原文の雰囲気や崩さずに意味を伝えることができるのか、なぜ日本語として間違っているのかに気付くには日本語に関する知

識が欠かせません。外国語を学習するにあたり、外国語だけでなく日本語に関する知識がいかに大切であるかに気付かされました。このゼミナールで二年間指導してくださった塩田先生には大変お世話になりました。ゼミナールでの発表や卒業論文のご指導の他に、様々なことで親身になって相談に応じてくださいました。何かに行き詰まる度にかけてくださった言葉はいつも励みになりました。

このように四年間を振り返ってみると、様々な面においても充実した時間を過ごすことができたと思います。また、中洲賞受賞という形で大学生活を締めくくることができ、喜びを感じています。

最後になりますが、これまで私を支えてくださった全ての方にお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



## 『素晴らしい大学生活』



国際政治経済学部  
国際政治経済学科

## 紺野 孝文

はじめに、学問を追求することの素晴らしさを教えてくださった先生方、温かく見守り、常に支え続けてくださったご父母の皆様、切磋琢磨しながら共に学んだ友人達に、心より感謝を申し上げます。多くの方々を支えていただき、卒業を迎えることができました。ありがとうございます。

二松學舎大学に入学してからの四年間を振り返りますと、決して忘れることのできない素晴らしい経験をさせていただきました。大学生活への期待と緊張を胸に、講義に臨んだ日々を忘れることはありません。温かく、時に厳しく指導して下さった先生方から学ばせていただいた知は、深く脳裏に刻みこまれていま

様々な講義、課外活動、大学祭など、在学中の全ての時間が学びの時間の知恵を得ることができました。この素晴らしい時間を友人達と共に歩むことができたことは、私の人生において最大の力になると確信しています。

これから社会に出て、物事を成し遂げるといふ強い信念を持つと共に、大学生活への懐かしさを憶えます。伝統を築き上げてこられた先輩方の背をしっかりと見つめながら、二松學舎大学の伝統を引き継ぎ、更なる発展に貢献することができるよう、懸命に努力いたします。私は多様な分野の講義を受講させて頂きました。先生方のご指導や友人達との議論を通して、多角的

な視野を得ることができました。自分の中に既に存在していた判断軸が、時に自信を深めて太くなり、時に異なる判断軸が次々と生まれていくことを感じました。勉学の道は厳しく感じられることもありましたが、答えを導き出す過程と結果を出すことの喜びを知ることができました。それは新しいことを学ぶことへの希望と活力となっています。学ぶことの喜びを友人達と共に経験し、共有することができたこと。その瞬間の一つ一つが、私の宝物です。

二松學舎大学は私に多くの知と素晴らしい縁を与えてくれました。双方が人生における道標となり、前に進む力となるでしょう。この力をどのようにして活かすことができるのか、ということを考え続け、行動することが卒業生としての役目であると感じていきます。

私は二松學舎大学で学ばせていただいたことを、誇りに思います。大変に充実した大学生活であり、多くの実りをもたらしてくれました。この実りを自分自身だけではなく、広く社会に貢献するために活用する決意です。真摯に物事に向き合い、自身を省みる姿勢を持ち、一途に励みつつけます。

最後になりますが、二松學舎大学での素晴らしい大学生活を支えてくださった全ての皆様に、改めまして深く御礼申し上げます。そして、二松學舎大学の更なるご発展をお祈り申し上げます。





文学部 教授  
五月女肇志

一年次の冬から四年次まで硬式野球部のマネージャーとして東京六大学野球の運営にあたった。

主な活動としては、合宿所の管理、リーグ戦・オープン戦・キャンプの運営、金銭の出納(当時の年間予算は二千万円程)、神宮球場のシーズン招待券と引き替えの寄付金集め、来客・取材の応対。打球が近所



国際政治経済学部  
准教授  
飯田 幸裕

私は小さい頃から友人と一緒に行動するのは大好きでしたが、自分から「くをしよう」と声をかけるのは苦手でした。大学時代には、高校時代の友人から「旅行しませんか」と声を掛けてもらうことが多く、そのおかげで旅行が自然と趣味になりました。自分の趣味を作るきっかけをくれた友人たちに感謝するばかりで

のガラスを割ったら菓子折を持って謝罪に赴く等クレーム対応も行った。一つ上の学年のマネージャーが二人続けて合宿所から逃げ出したため、三年生でチーフマネージャーに就任した。四年生の時の開幕戦で通算二百勝目となり、その日観戦していた総長に教職員食堂で祝賀会を開いてもらった。日米大学野球では、米国チームのマネージャーに選ばれた。

神宮球場への移動は学生服となっていたので、大学への通学も学生服に学帽で通した。チームの勝

す。

大学時代、大学院時代に何度か旅行をしています。少し長めの旅行の場合には、旅行する数日前に打ち合わせをしました。まず、目的地のガイドブックや時刻表を用意します。そして、その中でどのような場所に行きたいか、どのようなルートで行きたいか、何を食べたいかを話します。

この打ち合わせはとても楽しく、旅行の醍醐味は、旅行しているときと同じくらい、準備をしているときにもあるように思います。旅行のほとんどは電車を利用して

# 私の学生時代

敗もさることながら、お客の入りも気になり、応援部と一緒に観戦を勧めるピラ配りも行った。その経験から、今でも学生が行う催しには可能な限り足を運びたいという気になる。

基礎ゼミという名称でなかったが、一年次のクラスの仲間からは勉強を教えてもらったり、球場に応援に来てもらったり、神宮最終戦後の引退セレモニーまでかけつけてもら

ったりして、感謝の念に堪えない。四年間一つのことを続けられたというのは大きな自信とな

りましたが、電車で行くという楽しみは、いろいろな景色を満喫できるということでしょうか。

私たちの旅行では、景色を楽しむことはもちろんですが、現地の特産品を食べるということが一番のこだわりがありました。宿泊にはあまりお金をかけなくても、食事には妥協しないという気持ちで、準備の段階からいろいろと調べていたと思います。旅行をしなくても各地域のおいしい食材を楽しむことはできませんが、現地で食べると、その何倍もおいしく感じられます。

った。また部の仲間だけでなく他大学のマネージャーと苦楽を共にした経験は貴重な財産だと思ふ。組織の運営を通じて事務能力・コミュニケーション能力も身についた。就職して社会人野球を続ける選択肢もあったが、大学内の書店に並べられた本の山を見た時、これらのほとんどを読まずに学生生活を終えるのはもったいない気がして、大学院に進学して国文学の研究を続けようと考えた。三度目の入学試験でようやく合格して、今日に至っている。

旅行では、日常生活とは異なる、特別な時間を過ごすことができま

す。リラックスして、日頃の疲れをとるといふのも一つの選択肢ですが、私たちは、旅行の準備に時間をかけ、現地ではおいしいものを食べようと気合いを入れて、また、日頃は見られない景色を満喫しようとしていました。この姿勢は、いまの日常生活や仕事で、小さいことでも一生懸命取り組もうとする気持ちにつながっていると思ふ。旅行すること、そしてそのきっかけをくれた友人たちに感謝して、これからも努力していきたいと思ふ。

【平成二十八年年度卒業生のご父母の皆様へ】

卒業生ご父母の皆様におかれましては、ご子息・ご息女のご卒業を心よりお喜び申し上げます。卒業生の皆様

がそれぞれの進路におきまして、更なる成長を遂げ、活躍されることを、キャリアセンター一同心よりお祈り申し上げます。

【平成二十九年年度を迎えるにあたって】

新年度に四年次となる学生には、二月から多くの就職支援学内講座を開講し、たくさん

の学生が参加いたしました。その講座一部は、父母会助成で開講し、

学生の就職支援をご父母と大学が協力して実施できていることをに対し、改めて御礼申し上げます。

就職活動を開始した学生には、会社説明会や採用選考が進んでいく中で、悩んだり、困ったことに遭遇することも

父母の皆様にも引き続きご家庭のご支援をお願いいたします。

毎年、三年次に進級した学生のご父母にキャリアセンターから就職関係の資料を発送しております。三年次という学年は就職希望・進学希望

を問わず進路を考える大切な時期になります。その支援のためキャリアセンターでは秋に「個人面談」を全

三年次生に呼び掛けております。その個人面談で使用する進路登録カードを、ご父母あての発送物に同封し

てございますので、ご子息・ご息女にお渡し頂

きたくお願い申し上げます。その際には、新学期を迎える励ましと

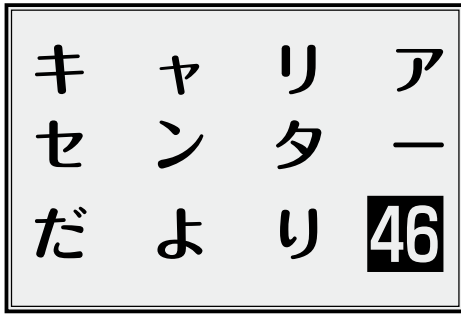
ともに、キャリアセンターへ

の進路登録カード提出についてご指導頂ければ幸甚に存じます。

平成二十九年年度も、引き続き「公務員試験準備及びSPI対策講座」(有料講座・二年次生対象)、「公務員試験対策講座」(有料講座・三年次生対象)なども開講いたします。公務員志望者への受講をお勧めいたします。

最後になりましたが、平成二十八年年度のキャリアカウンセラーの配置や日本語能力検定試験等、父母会のご支援により実施できましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

ご支援により実施できましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



平成28年度

卒業生名刺交換会開催

平成二十九年二月二十五日(土)

十七時より、ホテルグランドパレス白樺の間(飯田橋)において、二松學舎松苓会(同窓会)との共催による「平成二十八年年度卒業生名刺交換会」を開催しました。

この名刺交換会は、卒業生と母校の「絆」を基に卒業生間のネットワーク構築と、在学生(特に就職活動中の学生)に対する支援の充実(OB・OG訪問・相談会の開催など)を目的として、平成二十七年

度から卒業生約六十名が参加し、名刺交換だけでなく、同窓組織ならではの旧交を温め、母校で結ばれた絆、ネットワークを築く場となりました。参加した卒業生からは、「今後もこのような会をぜひ継続してほしい」、「在校生の就職活動に何がしかお役に立ちたい」との声をたくさん頂きました。

二松學舎大学では、卒業生の皆さまと、卒業後もこのような交流の場が持てるよう、今後も継続していきたいと考えております。

ご父母の皆さまにおかれましても、ご理解・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、当日は、就職活動目前の三年生八名が、アルバイトとして参加し、運営の手伝いを行いました。社会人との交流に向き合い積極性を高める場となるとともに、卒業生から就職のアドバイスを受けるなど、多くの刺激を受けることができました。

(大学改革推進課 馬淵)



### 平成29年度 短期海外語学研修 参加学生募集のご案内

本学では長期休業期間を利用して、約3週間の短期海外語学研修を実施しています。本年度から新たに英国ケンブリッジ大学での英語研修も実施することになり、英国(ケンブリッジ大学)、アイルランド(ダブリンシティ大学)、中国(北京大学)を計画しています。

#### 【英語圏 ケンブリッジ大学およびダブリンシティ大学】

国際的にも評価の高いケンブリッジ大学による英語研修は、英語授業と専門科目の講義で構成されており、英語授業に加え、同大学講師から直接学ぶ講義、同大学学生との交流、小旅行(ロンドンやストーンヘンジ等)、伝統的なダイニングホールでのフォーマルディナー、カレッジ寮生活体験など英国らしい体験が魅力です。修了者には、ケンブリッジ大学公式修了書が発行されます。向学心の高い学生向けの研修です。同大学初のオフイシャルプログラムであり、国内の他大学にはない貴重な英語研修です。

親しみやすい人柄と悠然とした風土で人気のアイルランドにあるダブリンシティ大学付属語学教育機関における本研修は、基礎的な英語力の向上とホストファミリーとの交流を重視したプログラムです。ホームステイでは、現地の家族の一員として滞在することで、アイルランドらしい文化体験を実感します。英語力・海外経験は問いませんので、初めての海外でゆつたりと英語を勉強したい学生向けの研修です。

期 間…2017年8月13日(日)から9月3日(日) (両大学とも)。アイルランド語学研修は2018年春期にも開催予定。

研修機関…ケンブリッジ大学ホームートンカレッジ(英国)・ダブリンシティ大学付属語学教育機関DCUランゲージサービス(アイルランド)

研修費用…英国80万円前後、アイルランド夏期55万円前後、春期45万円前後。

募集人員…ケンブリッジ大学については若干

名、また英語力要件があります。ダブリンについては上限なし。両大学とも最少催行人数1名

#### 【中国語圏 北京大学】

今年で20回目となる本研修は、中国の最高学府である北京大学での語学研修を通して実践的な中国語能力と、中国の歴史・文化に対する理解を深めることを目的とした本学独自のプログラムです。北京大学講師の指導を受けながら、語学力向上と歴史・文化を学びます。京劇、雑技鑑賞、名所旧跡の参観など首都北京で中国語を話す機会が豊富にあります。

期 間…2017年8月7日(月)から8月27日(日)

研修大学…北京大学(受入機関)・北京大学歴史学系

研修費用…42万円前後

募集人員…20名(最少催行人数15名)

問合せ先…二松學舎大学国際交流センター

03-3261-5751



中国・北京大学



英国・ケンブリッジ大学



アイルランド・ダブリンシティ大学

桜の花が九段界限に華やぎを添える頃となりました。キャンパスでは、旅立ちと出会いの季節が始まりました。そんな季節のなか、学生相談室でも、キャンパス探索の一環として皆さんが気楽にのぞきにきてくださるのをお待ちしております。そこで、今回は学生相談室の雰囲気をお伝えする一場面を紹介したいと思えます。

## 学 生 相 談 室

# だ よ り 96

カウンセラー・教授 **改田明子**

することを大切にしてゆきたいと考えています。その人らしさは、ケーキや餃子を作りながら、發揮されます。不器用ながらも一生懸命さがにじみ出たり、意外と慣れた手つきでこなしたり、なかなか手が出なかつたり、批評専門だったり。個性的な形の餃子は、それぞれに味わい深いものです。活動をとにもすることを通じて、

その人らしさがにじみ出てくるのを味わうのが私の密やかな楽しみです。むやみに盛り上がりなくとも、そのときどき、たまたま集ったメンバーの織りなす味わいがある楽しいものです。はしゃいでもいいよ、はしゃがなくてもいいよ、と。

学生相談室では、年に数回、イベントと称して、食べ物企画が催されます。卒業、クリスマス、七夕、ハロウィンなどなど。狭いフリースペースにちようど収まるくらいの人たちが三々五々集まると、ナンヤカヤいいながら、ホットプレートで餃子を焼いたり、ケーキを飾り付けたりして、ひとときを過ごします。世間では、イベントといえ、できるだけ多くの人が元気ににぎわうことを目標に掲げる雰囲気があるかも知れません。でも、学生相談室の目標は、その人らしく。そのような機会でも、その人が無理しすぎないでいられ

このような雰囲気は、見栄えを気にしすぎることなく、楽に過ごすというスキルを育むことにつながるかもしれません。肩の力を抜くことは、長丁場の学生生活のなかで意外と大切なスキルです。緊張の続く新生活のなかで、ほっとできる場であることを感じてもらえればと思います。来年度もよろしくお願ひします。

### 平成29年度二松學舎大学日程表

年	月	日	月	日	日 程
平成29年	3	27	~	4 8	ガイダンス期間 (10日間)
	4	3			入学式
	4	7			新入生歓迎式典
	4	10			春 semester 授業開始
	4	20			前期授業料納入期限
	5	27			父母会定期総会
	6	18			文化祭 (九段)
	6	25			体育祭 (柏)
	7	10	~	7 11	試験期間 (定期試験期間を含み18日間)
	7	19	~	8 5	
	7	29			授業期間終了
	8	6	~	9 13	夏期休業期間 (39日間)
	8	17	~	8 18	追試験
	9	6	~	9 9	ゼミ合宿期間
	9	14			秋 semester 授業開始
	9	23			(秋分の日) : 授業実施
9	30			春 semester 学位記授与式	

年	月	日	月	日	日 程
平成29年	10	10			創立記念日 (休講)
	10	20			後期授業料納入期限
	11	3			休講 (学園祭準備)
	11	4	~	11 5	学園祭 (4日は休講)
	12	21	~	1 30	試験期間 (定期試験期間を含み18日間)
	12	23			
	12	26	~	1 6	冬期休業期間
平成30年	1	9			授業再開
	1	13	~	1 14	センター入試 (11日・12日・13日休講)
	1	23			授業期間終了
	2	8	~	2 9	卒業研究面接試験 (文学部)
	2	8	~	2 9	卒業論文面接試験 (国際政経)
	2	13	~	2 14	追試験
	3	上旬			卒業発表
	3	上旬			進級者 (文学部・国際政経)
	3	16			学位記授与式 (卒業式)

## 学生顕彰報告

### ● 団体

書道部

第101回書道展

団体優秀賞

軟式野球部

第37回東日本大学軟式野球選手権大会  
ベスト8

東都大学軟式野球秋季リーグ戦 優勝

### ● 個人

島田葉月さん

第68回毎日書道展

U23漢字部Ⅱ類奨励賞

芳賀桃子さん

第68回毎日書道展

U23漢字部Ⅰ類毎日賞

和田圭菜実さん

第68回毎日書道展

U23漢字部Ⅱ類入選

奥村由芽子さん

第65回記念独立書展

準特選

堤拓斗さん

第65回記念独立書展

秀作

磯部里奈さん

第65回記念独立書展

新鋭賞

奥平真惟さん

第29回国際架橋書展

最高顧問賞

浦島慧至さん

第40回学生書写書道展

全書会特別大賞 (公募の部)

宮野しえりさん

第35回道風の書 臨書 作品展

本阿弥切 秀作

佐藤舞季さん

第60回千葉県短歌大会

学生の部 天賞

蓮実勇太郎さん

シアターグリーン学生芸術祭 Vol.10

優秀賞

市川哲さん

第28回全日本学生テコンドー

選手権大会

個人マツソギ (組手) 準優勝

林京佑さん

東都大学軟式野球春季リーグ戦

ベストナイン (二塁手)

東都大学軟式野球秋季リーグ戦

最多勝利投手

長谷川巧さん

東都大学軟式野球秋季リーグ戦

盗塁王

須田拓也さん

東都大学軟式野球秋季リーグ戦

ベストナイン (一塁手)

野本貴亮さん

東都大学軟式野球秋季リーグ戦

最優秀選手賞

## 課外活動団体助成報告

狂言研究会

第37回自演会 ポスター印刷助成

コール・エコース

第48回定期演奏会 会場借用費助成

茶道部

卒業茶会 会場借用費助成

書道部

第51回二松學舎大学書道部学外展

会場借用費助成

軟式野球部

第37回東日本大学軟式野球選手権大会 遠征費



## 塩田ゼミナール

塩田ゼミナールは、韓国ドラマを見てみてセリフを聞き取り、シナリオも使って文法などを学びます。ドラマを教材として使用することで文法だけでなく韓国の文化や生活、思想なども知ることができるので自分の視野が広がります。

塩田ゼミナールのゼミ旅行は三泊四日で韓国に行きます。私はソウルと全州に行きました。韓国には旅行で何回か行ったことはありましたが地方に行くのは初

めてだったの  
で新鮮でした。  
全州ではゼミ  
ナールの仲間と全州ビビンバを作ったり、韓服を着て韓国の伝統音楽を学んで歌って踊りました。また、ガイドさんの案内で韓屋村を散策しました。普段の旅行では体験出来ないことが出来、ゼミの仲間とも仲良くなれます。自分の韓国語が現地を通じたときは嬉しかったです。まだわからないことや通じないことなどがたくさんあったのでもっと勉強しないといけないと感じました。

四年では卒業研究のために自分

直訳するだけでは意味が違ったり相手に伝わらないので意識をしたりします。その際、韓国語の意味がわかっても大変で韓国語はもちろん、自分の日本語力不足を感じました。毎回、発表後にはみんなから意見を貰うので、その意見にはとても助けられました。入学した時はハングルを読むのが精一杯で意味もよくわからなかった自分が先生や友達との協力を得て、一冊の本を翻訳出来た時の達



中国文学科 四年 関 菜都美

成感は忘れられません。やり切ったことで韓国語に対する自分への自信にも繋がりました。

## 増田ゼミナール

近代日本を代表する文豪である夏目漱石が、先日アンドロイドとして現代に蘇り、注目を集めています。彼は学生時代二松學舎で漢学を学び、イギリス留学を通してシェイクスピアの劇曲をはじめとする様々な英文学の素養を身につけたといえます。増田ゼミナールでは、そんな漱石の作品を読み込み、発表やディスカッションを行うことで「比較」という研究姿勢を日々追求しています。比較文

学・文化の研究を専門とされている増田裕美子先生のご指導のもと、漱石作品とシェイクスピア作品の比較、考察を通して多角的な視点から作品を読み取る力を養っています。漱石の作品には至る所に「謎」や「象徴」がかくされており、深く読めば読むほど様々な解釈が可能になります。ゼミでは、テキストの範囲を読み、独自の解釈や考察を交え発表に臨みます。ディスカッションを通じて相手の意見を丁寧に聴き、自分の考えとの相違点や共通点を明らかに

することで、新しい視点や普遍性が見えてきます。難易度は、日々上がっていきませんが、自分自身の成長や仲間たちとの絆が深まっていくことを強く感じる事ができ、ゼミは非常に価値のある時間です。

また、学園祭では毎年『ロミオとジュリエット』を上演しています。台本や衣装など全て自分たちで考え、演技の質を高めるために練習を繰り返します。僕たちは原作の雰囲気や少し変えて、喜劇風にアレンジしたものを上演しました。

文学や演劇と



中国文学科 三年 黒澤 優太

いった繊細な文化を身近に感じ、しっかりと向かい合うことができることも、増田ゼミならではの大きな魅力のひとつです。

# ゼミ 探訪

# お知らせ

## 平成二十九年度 父母会定期総会について

左記の日程により、平成二十九年度二松學舎大学父母会定期総会を開催いたします。当日は、講演会を予定しております。

日時・平成二十九年五月二十七日(土)  
場所・二松學舎大学九段キャンパス  
一号館

内容・平成二十八年度事業報告並びに決算  
・平成二十九年度事業計画並びに予算

新二年次生〜新四年次生の会員の皆様には、平成二十九年度定期総会のご案内と出欠票(委任状)をこの父母会報第九十六号に同封しておりますので、ご確認願います。  
また、準備の都合上、ご出欠を同封の出欠票(委任状)で四月二十四日(月)までにお知らせください。  
定期総会資料につきましては、五月中旬に郵送にてお届けします。

## 平成29年度 地区別父母懇談会について

父母会事業計画の一環として、毎年地区別父母懇談会を開催いたします。

平成二十九年度の開催地は、北海道・宮城県・茨城県・富山県・大阪府・鳥取県・東京都・長崎県・沖縄県の九会場を予定しています(日程は左の表をご確認ください)。この地区別父母懇談会は、大学の現況、履修の状況、学生生活の状況、就職活動の支援等についての説明があります。

全体説明終了後、個別相談を行います。大学への質問及びご意見・ご要望などを大学関係者に直接話が出来る機会です。この機会をぜひご利用ください。  
フリー参加形式としておりますが、会員の皆様に改めて事務局より開催案内をお送りし、出欠の確認をお取りします。  
万障お繰り合わせの上、ご参加願います。

## 平成29年度 地区別父母懇談会日程表

開催日	開催地区
6月10日(土)	北海道(札幌市)
6月18日(日)	宮城県(仙台市)
6月24日(土)	茨城県(水戸市)
7月1日(土)	富山県(富山市)
7月8日(土)	鳥取県(米子市)
7月9日(日)	大阪府(大阪市)
7月23日(日)	東京都(本学九段キャンパス) ※東京都・神奈川県在住の父母会員対象
7月30日(日)	東京都(本学九段キャンパス) ※千葉県・埼玉県在住の父母会員対象
8月5日(土)	長崎県(長崎市)
8月5日(土)	沖縄県(那覇市)

## 編集後記

当該父母会員の皆様、ご子息ご息女のご卒業おめでとうございませす。

二十八年度最後の会報は、卒業へ向けての特集です。

本年も父母会では、三月十六日の卒業式後、昨年と換わりました「グランドパレス」において卒業パーティーを開催致しました。

今まで同じ時間を共にした親しい友人やお世話になった先生方、目的を共有したゼミの仲間たちと楽しい時間を過ごす様子をたくさん撮影させていただくと同時に、我が息子、娘と同世代の学生と触れ合い立派な成長した姿が見られました。華やかで賑やかな中で堂々とした様子で羽目を外しすぎないところもさすが本学の学生でした。会場内の和やかな雰囲気も皆様にお伝えできたら幸いです。

また、先生方の個性と思いが詰まった「卒業生へ饒の言葉」は、卒業生へのメッセージのみならず、皆様にも見ていただきたいページです。

今後も本会報が会員の皆様への父母会活動報告となるよう、また大学と会員の皆様をつ繋ぐ一助となうように努力してまいります。ご家族で見えていただければとも思っています。

末筆ですが、取材協力編集に携わった全ての方々に感謝致します。